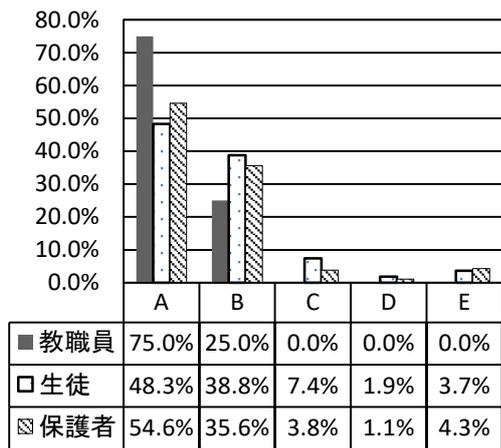


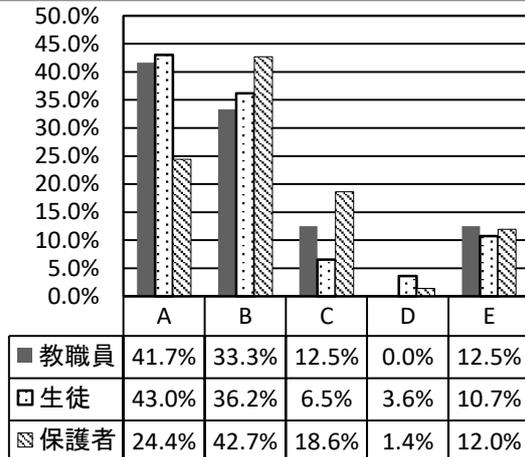
学校教育診断アンケートによる結果・考察(教職員、生徒、保護者)

1	教職員	本校は、挨拶を大切にしようとしている。
	生徒	私は、挨拶をしっかりとっている。
	保護者	学校は、挨拶を大切にしようとしている。



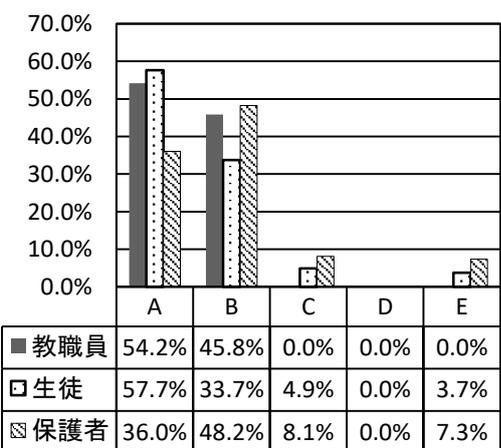
肯定的回答(AとBの合計)は教職員で100%、生徒で87.1%、保護者で90.2%と高い数値であった。3者ともに過去5年で比較して最も高く、学校に挨拶が根付いてきていると思われる。

2	教職員	本校は、自ら危険を回避できる生徒を育てようとしている。
	生徒	自分で自分を守るよう、いざという時には危険からのがれることができる。
	保護者	学校は、自ら危険を回避できる子どもを育てようとしている。



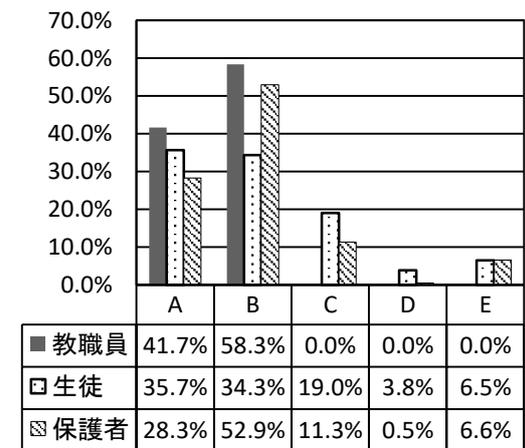
教職員以上に生徒の肯定的回答が高く(79.2%)自助の意識が高まっていることが分かる。3者ともにE(どちらともいえない)が1割以上いるため、防災を明確にした教育を充実させていきたい。

3	教職員	本校は、互いに励まし合い、人とのつながりを大切にする生徒を育成しようとしている。
	生徒	私は、友達同士互いに励まし合い、人とのつながりを大切にしている。
	保護者	学校は、互いに励まし合い、人とのつながりを大切にする子どもを育成しようとしている。



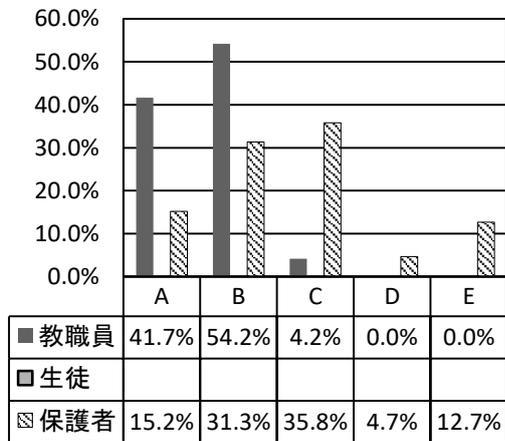
教職員、生徒、保護者ともに肯定的回答が高く、生徒と保護者は過去5年で最も高い値を示している。これからも人とのつながりを大事にした教育を推進していきたい。

4	教職員	本校は、自ら考え、自ら表現し、自ら行動できる生徒を育成しようとしている。
	生徒	私は、自ら考え、自ら表現し、自ら行動できる力を持っている。
	保護者	学校は、自ら考え、自ら表現し、自ら行動できる子どもを育成しようとしている。



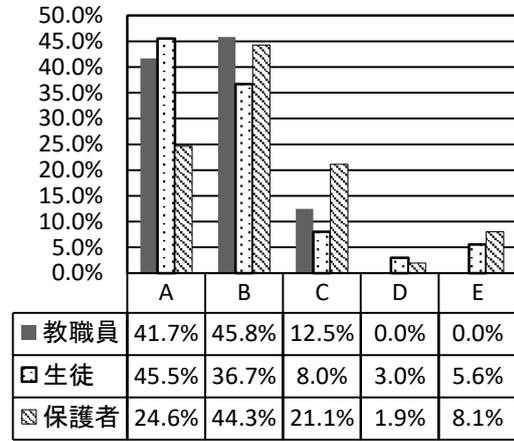
3者ともに肯定的回答は過去5年で最も高いが、生徒の否定的回答(C、D、Eの合計)が3割近くいるのが課題である。自主性を育む教育の推進していく必要がある。

5	教職員	本校は、特色ある教育活動が行われている。
	生徒	生徒はなし
	保護者	学校は、特色ある教育活動を行っている。



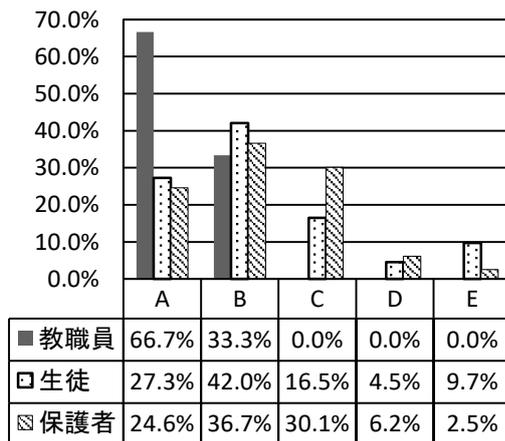
教職員と肯定的回答(95.9%)と保護者の肯定的回答(46.5%)の差が最も大きい質問である。教職員が考える本校の特色をもっと保護者に周知していくようにしたい。

6	教職員	本校は、人権学習や福祉ボランティア活動をはじめとした豊かな心を育てる教育が実践されている。
	生徒	堅下北中学校では、人権学習や福祉ボランティア活動をはじめとした豊かな心を育てる学習を行っている。
	保護者	学校では、人権学習や福祉ボランティア活動をはじめとした豊かな心を育てる教育が実践されている。



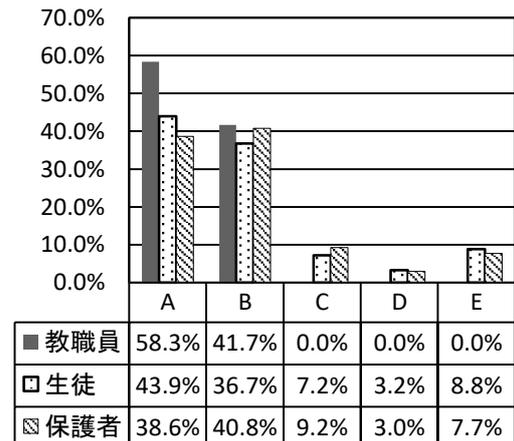
教職員と生徒の肯定的回答は高いが、保護者は約7割とやや低い値である。問5と同様、保護者への周知を図っていく必要があると思われる。

7	教職員	本校は、生徒の学校での様子等を、通信・ホームページなどによって家庭へ知らせている。
	生徒	堅下北中学校では、学校での様子が、通信、ホームページなどで家庭によく伝わっている。
	保護者	子どもの学校での様子等を、通信・ホームページなどによってよく知ることができる。



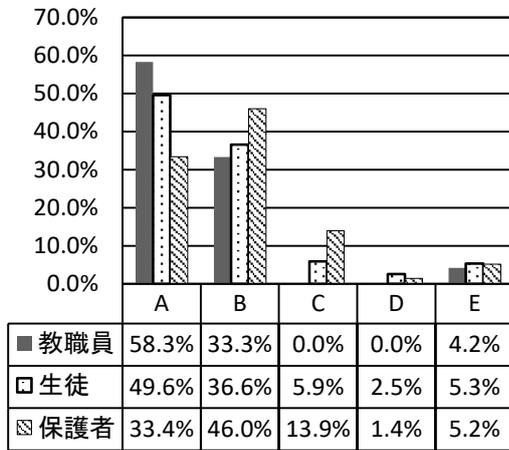
本年度はホームページの更新を頻繁に行った結果、3者ともに肯定的回答が過去5年で最も高い値となった。これからも学校の様子を積極的に発信し、「開かれた学校」をめざしたい。

8	教職員	本校は、生徒のことに丁寧に関心に応じている。
	生徒	堅下北中学校の先生は、丁寧に相談に応じてくれる。
	保護者	学校は、子どものことに丁寧に関心に応じてくれる。



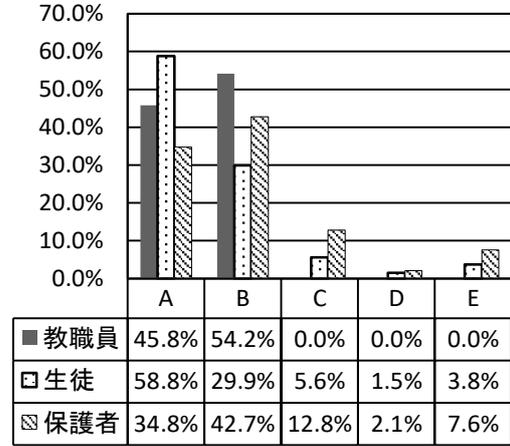
生徒の肯定的回答と保護者のA回答が過去5年で最も高い値であった。2割ほどの否定的回答を真摯に捉え、子ども理解に努めていきたい。

9	教職員	本校は、生徒の能力や努力などの評価を適切にしている。
	生徒	堅下北中学校の先生は、自分の持っている力や努力したことの評価を適切にしている。
	保護者	学校は、子どもの能力や努力したことの評価を適切にしている。



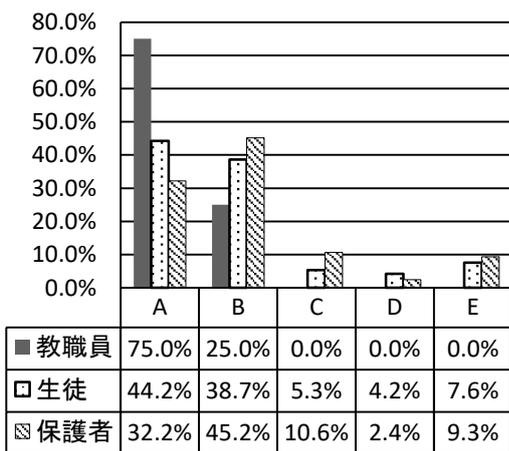
教職員と生徒の肯定的回答と保護者のA回答が過去5年で最も高い値であった。「指導と評価の一体化」を推進し、より適切な評価ができるよう取り組みたい。

10	教職員	本校は、生徒のまちがった行動には厳しく対応し、規律を守らせている。
	生徒	堅下北中学校の先生は、まちがった行動には厳しく対応し、規律を守るように指導している。
	保護者	学校は、まちがった行動には厳しく対応し、規律を守らせている。



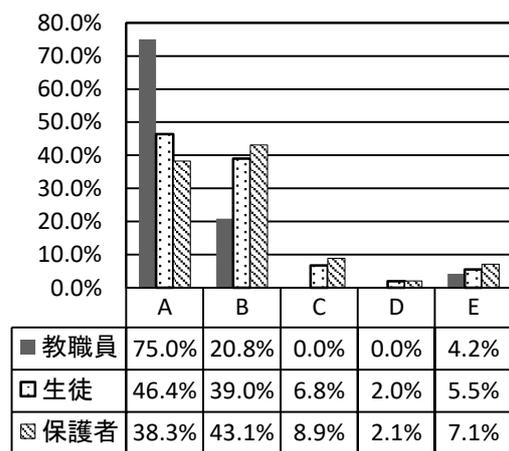
問9と同様、教職員と生徒の肯定的回答と保護者のA回答が過去5年で最も高い値であった。校則をアップデートする等、誰もが「納得」できる持続可能な生徒指導を推進していく。

11	教職員	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
	生徒	堅下北中学校では、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
	保護者	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。



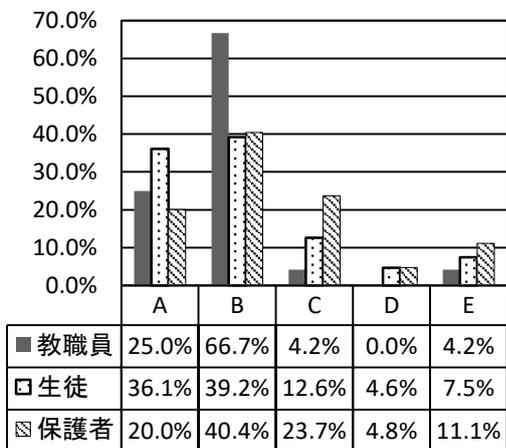
3者ともに肯定的回答が過去5年で最も高い値であった。いじめの積極的認知と早期対応に加え、道徳や人権教育を中心に心の教育の充実を図りたい。

12	教職員	本校は、教職員が、協力しあって子どもを指導している。
	生徒	堅下北中学校の先生は、協力しあって自分たちを指導している。
	保護者	学校では、先生方が協力しあって子どもを指導している。



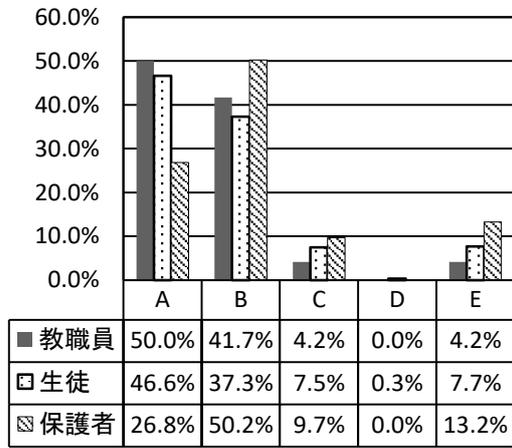
生徒と保護者の肯定的回答が過去5年間で最も高い値であった。とはいえ教職員の認識とは少し乖離があるため、教職員が連携できている姿を見せていくことで、生徒・保護者の安心につなげたい。

13	教職員	本校の生徒は、授業や活動が楽しくわかりやすいと言っている。
	生徒	堅下北中学校の授業は楽しくわかりやすい。
	保護者	子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている。



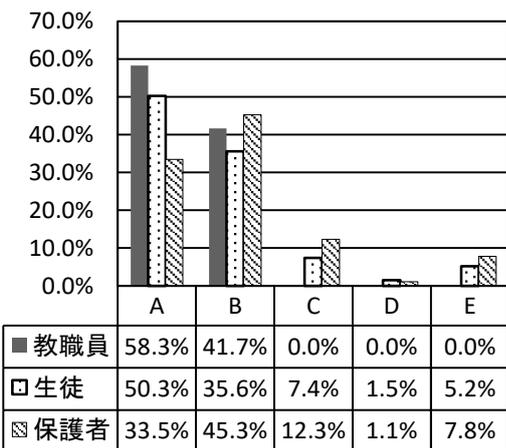
3者ともに肯定的回答が過去5年で最も高い値であった。授業改善にむけて研修や教員同士の参観を進めてきた成果が出ていると思われる。誰もが分かる授業づくりに今後も取り組む。

14	教職員	本校は、生徒会活動が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。
	生徒	堅下北中学校では、生徒会活動が活発に行われている。
	保護者	学校では、生徒会活動が活発に行われている。



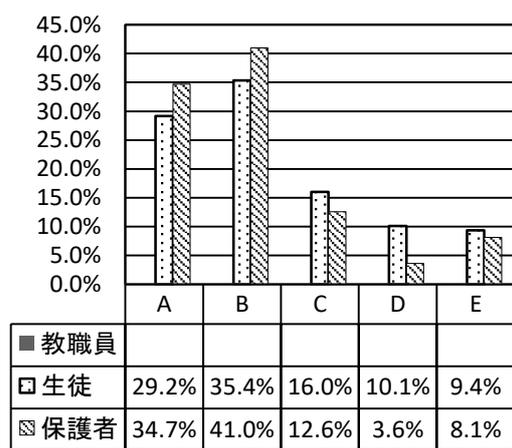
生徒と保護者の肯定的回答が過去5年間で最も高い値であった。保護者のE回答が13.2%あるため、生徒会活動についての発信をより積極的に行っていきたい。

15	教職員	本校は雰囲気がよく、子どもたちが生き生きとしている。
	生徒	堅下北中学校の雰囲気はよく、みんな生き生きと活動している。
	保護者	学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きとしている。



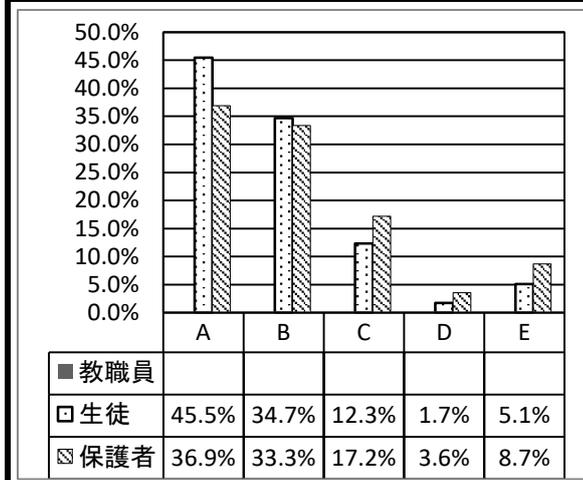
3者ともに肯定的回答が過去5年間で最も高い値であった。生徒と保護者の否定的回答が少なくなるよう、教職員が仲良く元気な姿を見せることで、学校の雰囲気を更に良くし活気づけたい。

16	教職員	教職員はなし
	生徒	私は、毎日学校へ行くのを楽しみにしている。
	保護者	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。



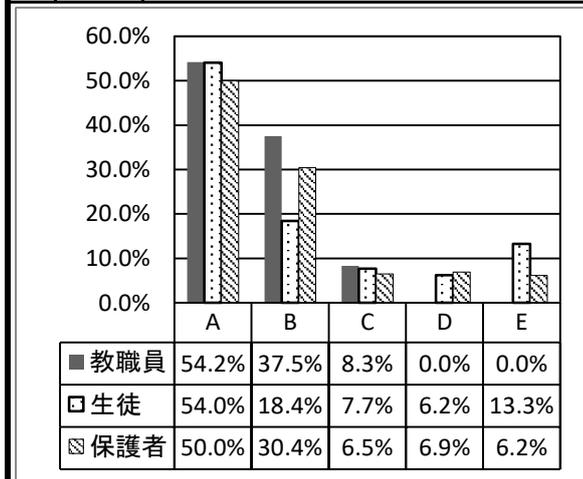
生徒のA回答と保護者の肯定的回答が過去5年で最も高い値であった。生徒の否定的回答(35.5%)にも目を向け、誰もが楽しみにできる授業や学級づくりに努めたい。

17	教職員	教職員はなし
	生徒	私は、堅下北中学校に友達がたくさんいる。
	保護者	子どもは、学校には友達が多いと言っている。



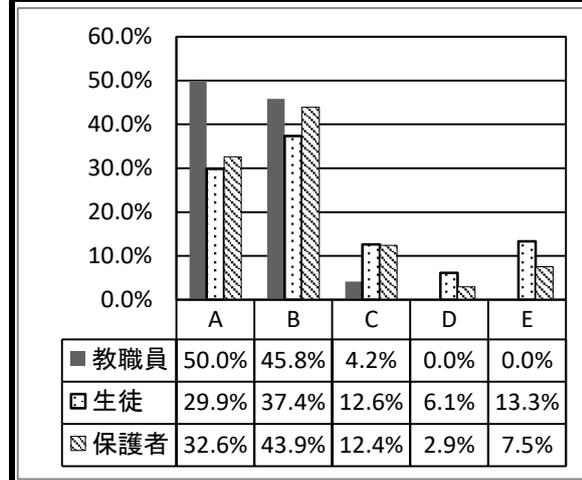
保護者の肯定的回答が過去5年で最も高い値であった。生徒の否定的回答(19.1%)にも目を向け、仲間づくりに向けた取組みを充実させたい。

19	教職員	本校の生徒は、積極的に部活動に参加している。
	生徒	私は、積極的に課外クラブ活動(部活動)に参加している。
	保護者	子どもは積極的に部活動に参加している。



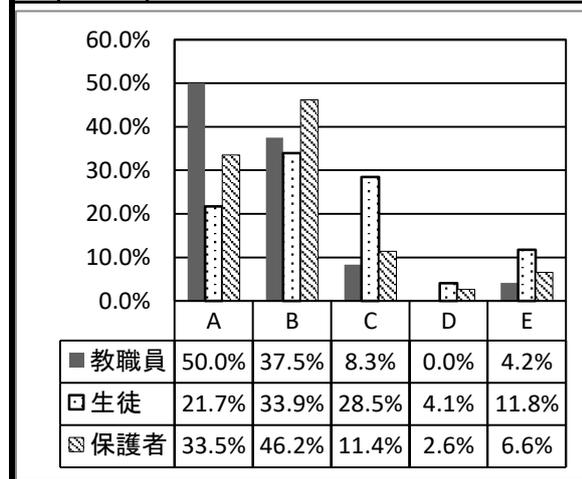
生徒のE回答がやや多いが、3者の差が少ない質問であった。「部活動運営方針」に従い、バランスの取れた適切な活動が行われていると考えられる。

18	教職員	本校は、生徒の不安解消に、さまざまな手立てを講じている
	生徒	堅下北中学校の先生は、いろいろな不安を取り除いてくれている。
	保護者	学校は、子どもの不安に対応してくれている。



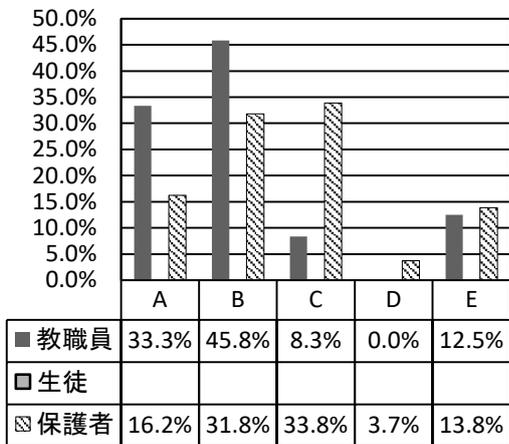
生徒と保護者の肯定的回答が過去5年間で最も高い値であった上、A回答が10%以上伸びていた。これからも「withの精神」に則り、生徒が安心して過ごせる学校づくりに努めたい。

20	教職員	本校は、保護者が授業を参観するなどの機会をよく設けている。
	生徒	堅下北中学校は、保護者や地域の方が授業を参観するなどの機会がよくある。
	保護者	学校は、保護者が授業を参観するなどの機会をよく設けている。



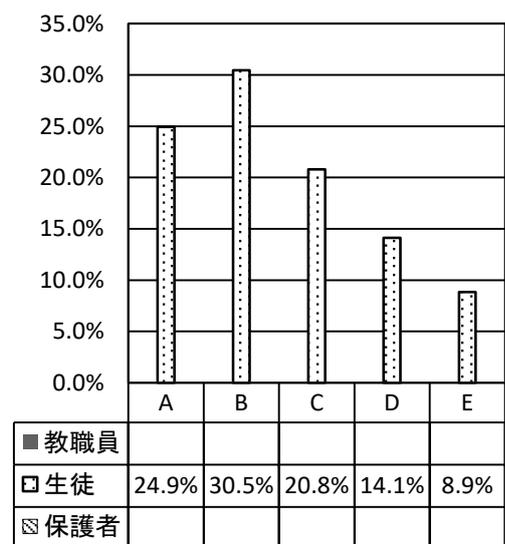
本年度は人数制限をしながらではあったが、年2回の授業参観が実施できたため、3者ともに肯定的回答は過去3年で最も高い値であった。これから更に従来どおりの実施形態に戻していきたい。

21	教職員	本校は、保護者や地域の人々と話す機会を多く設けている。
	生徒	生徒はなし
	保護者	学校は、保護者や地域の人々と話す機会を多く設けている。



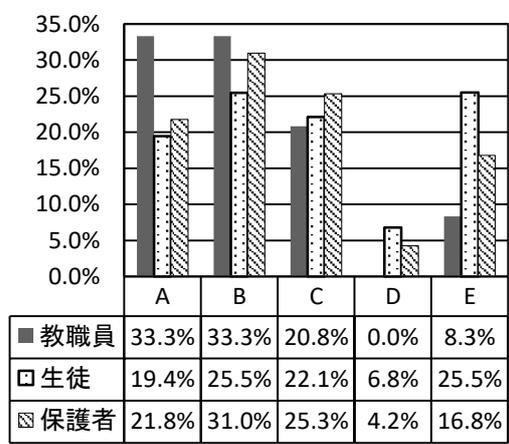
問20と同様に、2者ともに肯定的回答は過去3年で最も高い値であった。「開かれた学校」に向けて、保護者や地域の方とお話しできるような機会を設けていきたい。

23	教職員	教職員はなし
	生徒	小学校で学習した英語が中学校で役立っている。
	保護者	保護者はなし



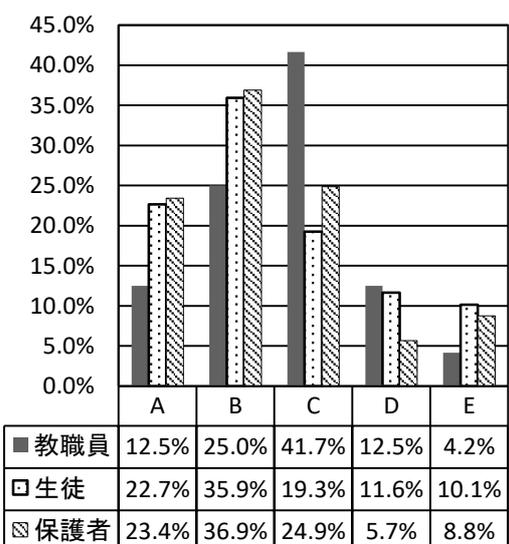
肯定的回答が過去5年間で最も高い値であった。英語教育推進教員やALTが小中両方で授業を受け持ち、教員間の連携が進んだことの結果だと考えられる。

22	教職員	本校は小中一貫教育を進めている。
	生徒	堅下北中学校では、小中一貫教育を進めている。
	保護者	学校は、小学校と連携して小中一貫教育を進めている。



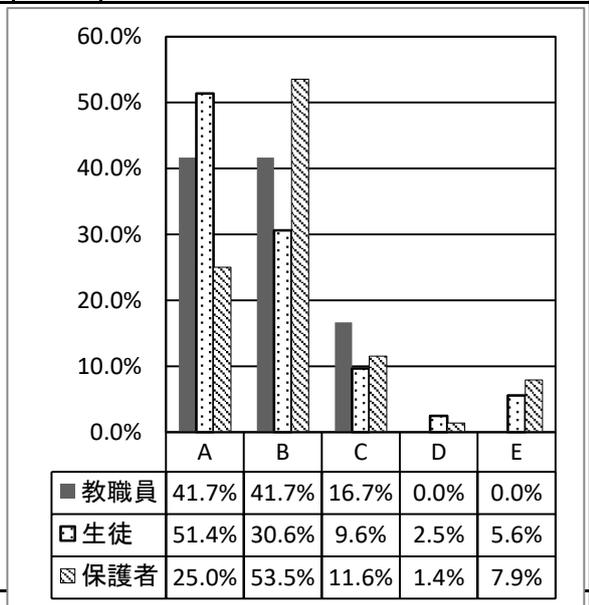
本年度はコロナの影響で止まっていた小中連携行事を再開したこともあり、3者ともに昨年度より肯定的回答が向上している。小中の教員で連携・協力して校区の子どもたちの育成を図りたい。

24	教職員	本校の施設・設備は、学習環境面でほぼ満足できる。
	生徒	堅下北中学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。
	保護者	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。



生徒と保護者の肯定的回答と教職員のA回答が過去5年間で最も高い値であった。体育館の空調設備が整うなど、教育環境の充実が目に見えるかたちでがあったことが要因と思われる。

25	教職員	本校の生徒は、協力し合って掃除をしている。
	生徒	私は掃除をしっかりしている。
	保護者	学校は環境美化に力を入れている。



保護者の肯定的回答と生徒のA回答が過去5年間で最も高い値であった。日々の清掃指導を大事にし、きれいな学習環境を整えることに努めたい。